令和5年2月作成

土砂災害 ハザードマップ

土砂災害から身を守ろう！

大洲市

●突然やってくる災害… 事前に記入しておこう!

わが家の「緊急・救急情報」防災メモ

非常時・緊急時に連絡してほしい方や、利用してもらいたい、わが家の情報です。
災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関などに情報を提供します。

●家族の集合場所

集合場所	避難所・避難場所

●家族の連絡先及び救急情報

氏　名	続柄	電話番号（自宅・携帯）	電話番号（会社・学校）	生年月日	血液型	救急情報（持病・アレルギー・常備薬）
					型	
					型	
					型	
					型	
					型	

●親族・知人

氏　名	間柄	電話番号

●かかりつけ医療機関

医療機関名	電話番号

緊急ダイヤル

消防へ火事・救急・救助の連絡 **119**

警察へ事件・事故の連絡 **110**

災害用伝言ダイヤル「171」

災害時には電話がつながりにくくなります
「171」に電話をかけると、伝言の録音や再生ができます

171 に電話する
- 1 伝言を残すには
  - ※市外局番からダイヤルしてください
  - 被災地の電話番号、携帯電話などの電話番号 をダイヤルする
  - 伝言を残す
- 2 伝言を聞くには を押す
  - 伝言を聞く

大洲市役所 危機管理課
〒795-8601 愛媛県大洲市大洲690番地の1
Tel:0893-24-1742 Fax:0893-24-2122
E-Mail:kikikanrika@city.ozu.ehime.jp

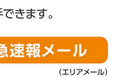
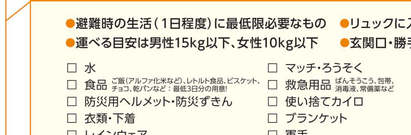
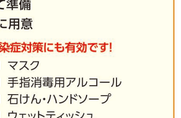
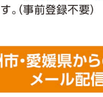
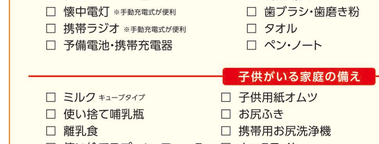
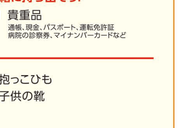
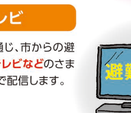
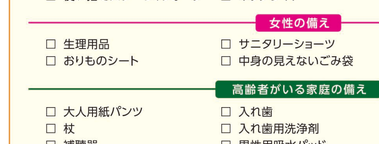
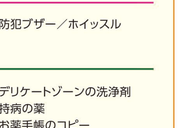
令和5年（2023年）2月発行

●風水害＆土砂災害について知っておこう!

雨の降り方と土砂災害の発生状況

傾斜が急な山の多い日本では、台風、大雨、地震などにより土砂災害が発生しやすい地形的な特徴を持っています。
土砂災害には、斜面の地表に近い部分がゆるみ、突然、崩れ落ちる「がけ崩れ」、山腹や川底の石、土砂が一気に下流へと押し流される「土石流」、斜面の一部あるいは全部がゆっくりと斜面下方に移動する「地すべり」があります。

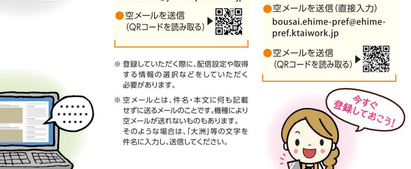
土砂災害は、いつ起こるかわかりません。危険を察知するためには、事前に土砂災害に関する正しい知識と自分が住んでいる土地についての知識を得ておくことが大切です。また、土砂災害が発生する前には、様々な前兆現象が起こる時があります。こうした前兆現象に気づいたら、周囲の人にも伝え、すぐに避難をすることが大切です。

	気象情報と雨の降り方	土砂災害の発生状況と特徴	主な前兆現象	災害発生
大雨注意報など	**激しい雨** 1時間に30～50㎜ 気象庁提供 バケツをひっくり返したような雨です。山崩れ・がけ崩れなどが発生しやすくなります。「高齢者等避難」の発令に備えましょう。	**がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）**  山崩れ・がけ崩れが起きやすくなる 雨や地震などの影響によって、傾斜度が30度以上ある土地が崩れ落ちることをいいます。突然発生するため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなっています。	 	**がけ崩れ発生** 
大雨警報・氾濫警戒情報など	**非常に激しい雨** 1時間に50～80㎜ 気象庁提供 滝のように降り、先が見えないほどの雨です。中小河川が氾濫し、土砂災害・水害が発生する可能性が高くなります。避難指示などの発令に備えましょう。	**土石流**  土石流が起こりやすい多くの災害が発生する 山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されるものをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で、一瞬のうちに人家や田畑などを壊滅させてしまいます。	 	**土石流発生** 
氾濫危険情報・土砂災害警戒情報など	**猛烈な雨** 1時間に80㎜以上  気象庁提供 息苦しくなるような圧迫感があります。傘は全く役に立ちません。水しぶきで辺り一面が白っぽくなり、視界が悪くなります。	**地すべり** 雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要 斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。動く範囲が広いため、人家や田畑、道路、鉄道などが、一度に大きな被害を受けてしまいます。	 	**地すべり発生** 

安全に避難するために、事前に避難場所を決めておきましょう

●普段から家族全員で、避難場所・避難するルートを決めておきましょう。災害が起きたとき、家族全員が一緒に居るとは限りません。そんなときも、あらかじめ避難場所をみんなで決めておけば安心です。

●避難所に行くことだけが避難ではありません。安全な地域に住む親戚や知人宅などへの避難も考えておきましょう。



土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報とは、大雨警報発表後に土砂災害の危険度が高まった際、愛媛県と松山地方気象台が共同で発表する防災情報です。危険度が高まっている詳細な領域は気象庁ホームページの「土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）」で確認できます。

●URLを直接入力
https://www.jma.go.jp/jma/index.html

●QRコードを読み取る

●防災気象情報の種類と内容を知ろう!

災害発生の危険性を5段階でお知らせします

災害発生のおそれが高まった場合、市や気象庁などから様々な情報が発表されます。
これらの情報に注意し、段階に合わせた適切な行動をとりましょう。

警戒レベル	市民の皆さんがとるべき行動	避難情報等	警戒レベル相当情報
警戒レベル5（命の危険 直ちに安全確保）	災害が発生・切迫している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	緊急安全確保（大洲市が発令）※	氾濫発生情報 大雨特別警報 など
〈 警戒レベル4までに必ず避難 〉			
警戒レベル4（危険な場所から全員避難）	速やかに避難行動をとりましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所への避難や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難指示（大洲市が発令）	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 など
警戒レベル3（危険な場所から高齢者等は避難）	ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児など、避難に時間のかかる人とその支援者は避難行動をとりましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難（大洲市が発令）	氾濫警戒情報 大雨警報 など
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	大雨注意報 など（気象庁が発表）	必ずしも、この順番で発表されるとは限らないのでご注意ください。
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報（気象庁が発表）	

※可能な範囲で発令されるものであり、必ずしも発令されるものではないことに注意してください。

気象庁からの注意報・警報

大雨・洪水注意報 ▶ 大雨・洪水警報 ▶ 大雨特別警報

大雨により災害が発生するおそれがあるときに発表されます。

大雨により**重大な災害**が発生するおそれがあるときに発表されます。

台風や集中豪雨により**数十年に一度の降雨量**となる大雨が予想される場合に発表されます。すでに災害が発生している可能性が高く、**大雨特別警報発表までに避難することが重要です。**

●「備え」早めの行動で被害を減らそう!

土砂災害のときの行動マニュアル

前兆を見つけたら ▶ 市役所や消防などに連絡し、速やかに避難!

前兆がなくても ▶ 降雨に不安を感じるときは、自主避難!

1時間に20ミリ、降り始めから100ミリがキーワード!

土砂災害の前兆を見つけるために、がけや川などに近づき過ぎるのはかえって危険。天気予報の降雨情報で**「1時間に20ミリ」「降り始めから100ミリ」「土砂災害警戒情報」**という言葉が出たら注意が必要。

土石流の進行方向に対し、直角に逃げる!

土石流のスピードは20～40km。後ろから襲って来る土石流に対し進行方向に逃げてもすぐに追いつかれるので、**流れに対して直角**に逃げる。がけのそばにいるときは、**がけの高さの2倍の距離**まで離れる。

警戒レベル3「高齢者等避難」が出たら、要配慮者はすぐに避難を!

市が発令する避難情報には警戒レベル3**「高齢者等避難」**、警戒レベル4**「避難指示」**、警戒レベル5**「緊急安全確保」**の3つがある。高齢者や体の不自由な方など、移動に時間のかかる方は「高齢者等避難」が出たらすぐに避難を開始する。

状況に応じた避難行動を

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、災害のリスクととるべき行動をして確認しましょう。

避難先を事前に決めておきましょう

状況に応じた避難行動や、避難先を決めましょう。また、避難先までの経路と時間も確認しておきましょう。

情報を基に避難の判断をしましょう

避難の決定は、様々な情報から決断しましょう。特に避難情報は命を守る重要な情報です。

大洲市WEB版ハザードマップ

Web地図を利用し、お好きな地点のハザード情報を自由に確認することができます。

●URLを直接入力
https://www.city.ozu.ehime.jp/bousai/hazardmap/index.html

●QRコードを読み取る

早めに避難をしましょう

命を守るため、早めの避難を心掛けましょう。危険な箇所には絶対に近づかないようにしましょう。

事前の確認

いざというときのために、家族や地域で危険箇所を確認しておきましょう。

適切な行動

情報を確認し、落ち着いて事前に決めておいた避難行動をとりましょう。

避難情報

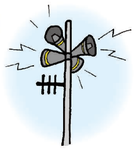
災害時の被害をできるだけ最小限に抑えるために、人的被害が発生する可能性が高まったときには、避難情報を発令しています。

避難情報の入手方法

防災情報は防災行政無線や緊急速報メールなど、さまざまな手段で入手できます。

防災行政無線

災害時に屋外の**スピーカーや戸別受信機**から、避難情報などをお知らせします。



ラジオ

持ち運びができ、放送設備の復旧が早いので**災害時の情報収集に活躍**します。手回し充電できるラジオは電池が不要。

テレビ

放送事業者を通じ、市からの避難情報などを**テレビなど**のさまざまなメディアで配信します。

SNS

（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）

東日本大震災ではパソコンや携帯電話を利用した**Twitter（ツイッター）**のつぶやきが情報の発信・伝達手段として利用されました。

緊急速報メール

（エリアメール）

気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、市が配信する災害・避難情報を被災の恐れがあるエリアの**携帯電話に一斉配信**します。（事前登録不要）

大洲市・愛媛県からの災害情報などのメール配信サービス

このサービスを利用するためには、事前に登録が必要です。

配信登録者に対し災害時の**防災情報や避難情報**などを配信します。

大洲市災害情報メール

配信される情報
防災行政無線や広報車で放送する避難情報など。

事前登録方法
●空メールを送信（直接入力）
ozubosai@yb74.asp.cuenote.jp
●空メールを送信（QRコードを読み取る）

※登録していただく際に、配信設定や取得する情報の選択などをしていただく必要があります。

※空メールとは、件名・本文に何も記載せずに送るメールのことです。機種により空メールが送れないものもあります。そのような場合は、「大洲」等の文字を件名に入力し、送信してください。

愛媛県防災メール

配信される情報
地震・津波、気象注警報、土砂災害警戒情報、河川洪水予報、国民保護情報などの緊急情報、市町からの避難情報など。

事前登録方法
●空メールを送信（直接入力）
bousai.ehime-pref@ehime-pref.ktaiwork.jp
●空メールを送信（QRコードを読み取る）

●「備え」家庭で事前に備えておこう!

わが家の防災セット

災害に備え各家庭でそろえておくべき「防災セット」は、避難時にすぐに持ち出せるよう準備する必要があります。

非常時持ち出し品

●避難時の生活（1日程度）に最低限必要なもの ●リュックに入れて準備
●運べる目安は男性15kg以下、女性10kg以下 ●玄関口・勝手口に用意

- □ 水
- □ 食品 ご飯（アルファ化米など）、レトルト食品、ビスケット、チョコ、乾パンなど：最低3日分の用意
- □ 防災用ヘルメット・防災ずきん
- □ 衣類・下着
- □ レインウェア
- □ 紐なしのズック靴
- □ 懐中電灯 ※手動充電式が便利
- □ 携帯ラジオ ※手動充電式が便利
- □ 予備電池・携帯充電器
- □ マッチ・ろうそく
- □ 救急用品 ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など
- □ 使い捨てカイロ
- □ ブランケット
- □ 軍手
- □ 洗面用具
- □ 歯ブラシ・歯磨き粉
- □ タオル
- □ ペン・ノート

感染症対策にも有効です!

- □ マスク
- □ 手指消毒用アルコール
- □ 石けん・ハンドソープ
- □ ウェットティッシュ
- □ 体温計

一緒に持ち出そう!

- □ 貴重品 通帳、現金、パスポート、運転免許証 病院の診察券、マイナンバーカードなど

子供がいる家庭の備え

- □ ミルク キューブタイプ
- □ 使い捨て哺乳瓶
- □ 離乳食
- □ 使い捨てスプーン、フォーク
- □ 子供用紙オムツ
- □ お尻ふき
- □ 携帯用お尻洗浄機
- □ ネックライト
- □ 抱っこひも
- □ 子供の靴

女性の備え

- □ 生理用品
- □ おりものシート
- □ サニタリーショーツ
- □ 中身の見えないごみ袋
- □ 防犯ブザー／ホイッスル

高齢者がいる家庭の備え

- □ 大人用紙パンツ
- □ 杖
- □ 補聴器
- □ 入れ歯
- □ 入れ歯用洗浄剤
- □ 男性用吸水パッド
- □ デリケートゾーンの洗浄剤
- □ 持病の薬
- □ お薬手帳のコピー

食料品の買い置き習慣を（ローリングストック方式）

食料品の備蓄は、普段使っている食品の「買い置き」から始めましょう。**「保存性が高い・自分の好きなもの・美味しいもの」**を選び、賞味期限が近いものから計画的に使い、消費した分は新たに購入するようにしましょう。

ローリングストック方式とは

賞味期限切れになってしまう前に消費する経済的な方法です。